

資料②

武蔵野市地域生活支援拠点等事業
令和 6（2024）年度 市内障害グループホームの概況調査 まとめ

わくらす武蔵野

1、期日：2024 年 12 月～2025 年 2 月

2、結果概要

<総数> 市内にある障害グループホーム 21 ヶ所

<経営組織>

組織形態	団体	GH 数	
社会福祉法人	4	A=5、B=5、C=1、D=1	12
NPO 法人	2	E=2、F=1	3
一般社団法人	2	G=2、H=1	3
株式会社	2	I=1、J=1	2
合同会社	1	K=1	1
計	11		21

＊約半数が市内で事業展開している社会福祉法人が運営。

<設立年>

設立年	G H 数
① 2020～2025（5 年）	8
② 2016～2020（10 年）	2
③ 2011～2015（15 年）	5
④ 2006～2010（20 年）	3
⑤ 2001～2005（25 年）	3
計	21

<入居期限>

＊グループホーム 2 か所のみが 3 カ年の期限を設定しその他は期限なし。

<入居利用者数>

運営	事業所（定員）	定員総数	現員	男	女
社福	A 15、6、13、10、9	53	52	34	18
社福	B 13、8、8、10、10	49	49	45	4
社福	C 14	14	14	7	7
社福	D 18	18	18	9	9
NPO	E 7、8	15	15	9	6
NPO	F 4	4	4	4	0
社団	G 10、10	20	20	20	0
社団	H 5	5	5	5	0
株式	I 6	6	6	4	2
株式	J 5	5	5	0	5
合同	K 6	6	6	0	6
計		195	194	137	57

<一時利用（体験、短期利用等）>

- ・1カ所が「日中支援型共同生活援助型」で短期入所を併設。定員2名（男女各1名）
- ・1か所で「短期入所」（チャレンジ自立で、体験）」男1名。1か所で女1名をグループホーム枠で体験枠を設けている。計2名。
- ・市単ショートステイにおける体験については別途調査する。

<障害種別>

- ・障害の対象としては精神障害が4（うち1カ所が混在）、知的障害（重複含む）が17。

<年齢層>

- ・入居者の年齢層としては30～40代が多い。ただし、20代から60代までと幅広く。高齢化の課題も想定される。

<事業所としての課題>

- ・事業開始から数年のためスタッフの介護技術の向上。
- ・今後、医療的ケアが多くなった場合の対応。介護スタッフの技術向上。
- ・今後体験利用者を受け入れる場合の判断基準や職員配置について。（土日夜勤者は非常勤の女性と派遣職員の為シフト調整等必要。）受け入れまでの細かな連携方法。
- ・地域とのつながりを持ちたい。
- ・求職中の利用者、オーバーワークで不安定になる。仕事のマッチングが課題。ハローワークとも連携したい。
- ・良いスタッフに助けられている。よいスタッフの確保。
- ・賃金上昇や物価高など運営が厳しい。運営と1人で一手に行い、後10年以内が限度か。
- ・親なき後の課題について。後見制度の勉強会など希望。
- ・入居者が地域との関係が薄い。
- ・通過型のため退去後の住まいの場探し。
- ・滞在型GHの必要性。
- ・日中活動に行けていない方が約半数を占めている。他市などの活動場所を探すのが、見つけにくい。またあったとしても本人の特性と合わない。
 - 病院には繋がっていたり、日中買い物にも出かけるが、部屋で過ごす時間がほとんどになってしまい生活にメリハリがつけられない。その方にあった活動先が見つけづらい、ご本人が合わない。買い物、病院には繋がっている。
- ・高齢化や障害重度化により今のグループホームで過ごせなくなってしまった利用者の過ごす場所がない。
- ・入居条件に自立体験実施を要件にしているが、その先のグループホームの空きがない。
- ・利用者の高齢化、重度化
- ・自立体験の場所

<拠点等事業への参加について>

- ・意向あり=15 ・意向なし=5 ・検討=1

<今後の情報提供>

- ・希望する=19 ・希望しない=1 ・メリットがあれば=1

以 上